

INTERVIEW

夏井地区学校運営協議会が、「芸と農の里 夏井」を継承する人材育成のため、小・中学校3校合同の協議会を設置しました。9年間を通して「地域と共にある学校づくり」に取り組みます。



夏井地区学校運営協議会



夏井中学校
木村 亮 校長

学校運営協議会を立ち上げて一番よかったと感じることは、3校の子どもを地域で育てるといふ教育活動が実践できていることです。

同協議会の委員の皆さんが、学校の活動を地域へ発信することで地域での認知度が上がり、子どもたちを地域と一緒に育てていこうとする機運が高まるのではないかと思います。教育活動には絶対にプラスです。



夏井地区学校運営協議会
播磨 孝則 会長

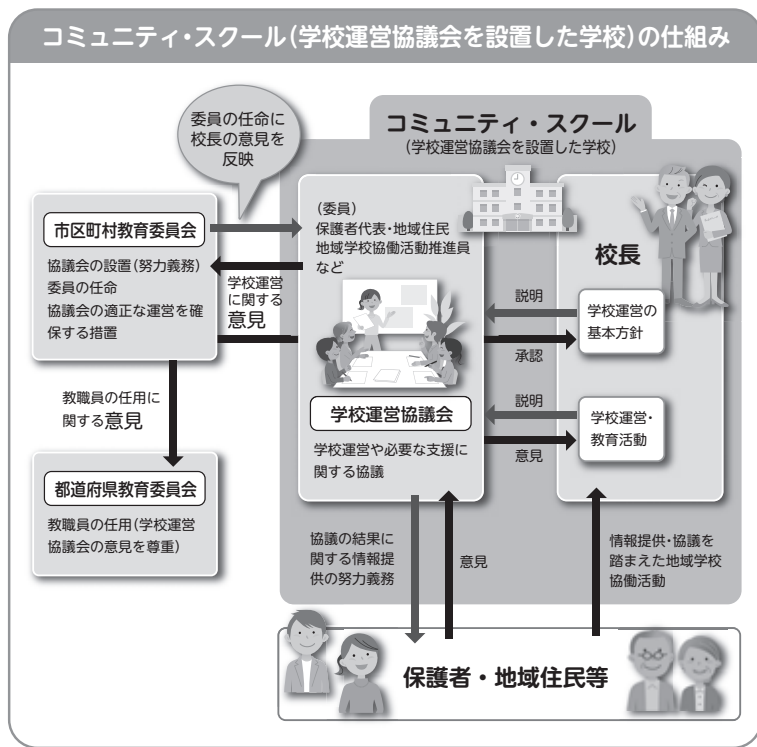
夏井中学校で夏井大梵天神楽を教えるようになり、地域の行事でも子どもたちから話しかけられる機会が増えました。

子どもたちが神楽を発表することで、地域が元気になると感じています。子どもたちには学びの中で、地元へ愛着を持ってほしいと思います。

◆学校運営協議会ではどのようなことをするの？
校長が掲げる学校運営の方針や活動計画について話し合います。
どのような子どもに育ててほしいのか地域と情報を共有し、そのためにはど

のようなことができるか、実現のために一緒に考え、学校と地域が連携して子どもたちの成長を支援する地域学校協働活動につなげていきます。
◆具体的な地域学校協働活動とは？
学校運営協議会で決定した目標を実現するため、学校や地域が連携・協働して行う活動です。学校運営協議会が設置されることで、これまでの教育振興運動や学校支援活動、青少年健全育成事業としての農業体験や読み聞かせ、環境整備や登下校の見守り、郷土芸能などの活動目標が明確になります。
連携体制が整備されるこ

とで、より効果的な活動を行うことができるようになります。
◆導入した学校では？
令和4年12月末現在では、夏井小学校、平山小学校、夏井中学校合同の「夏井地区学校運営協議会」、宇部小学校、宇部中学校合同の「宇部小・中学校運営協議会」、「侍浜小学校運営協議会」、「山形中学校運営協議会」の4つの運営協議会が誕生しています。
学校運営協議会では、子どもたちの教育活動の報告や地域における活動の提案など、積極的な協議が行われています。
今後も地域の実情に合わせて、各学校で学校運営協議



会を設置していく予定です。地域が学校の運営に参画することで、特色ある学校づくりを目指します。



本の読み聞かせ

歯磨き指導

稲作体験

学校と地域が一体となった特色ある学校づくりを進めます

コミュニティ・スクールが 始まりました



夏井大梵天神楽の発表

ソバ作り体験

シラカバの植樹

令和4年度、市はコミュニティ・スクールを導入しました。学校と地域が一体となった特色ある学校づくりを進めています。
◆コミュニティ・スクールとは？
学校や保護者、地域で組織する「学校運営協議会」を設置している学校のことです。
現代は少子高齢化やグローバル化が進み、貧困や虐待問題など、子どもたちが学校が抱える課題は複雑多様化しています。未来を担う子どもたちが健やかに成長するために、地域総掛かりで教育に取り組む必要があります。
学校は地域と連携し、ともに子どもたちを育む学校づくりをすることが、ますます重要となっています。
◆コミュニティ・スクールのメリットは？
学校と地域が同じ目標に取り組みことで、多くの効果が期待されています。子どもたちは、地域と触れ合うことで、体験活動が充実し、安心して安全な生活を

を送ることができます。保護者は、学校や地域の理解が深まり、地域全体で子どもを育てている安心感を得ることができます。地域では、これまで培ってきた経験を生かし、子どもたちの成長に関わることで、地域の連帯感や活性化が図られることが期待されます。
学校は、社会に開かれた教育課程を実現し、地域が支援することで、ゆとりのある充実した学習に取り組むことができます。
◆学校運営協議会とは？
学校の運営に、地域の声を積極的に生かし、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進める仕組みの一つです。
学校・保護者・地域で子どもたちの目指す姿を共有し、そのために必要な教育活動や課題解決策を考え連携して実行していく頼もしい学校の応援団です。
学校運営協議会が学校と地域を結ぶ橋渡しの役割が期待されています。